

「学校長期自然体験活動指導者養成研修」

国立赤城青少年交流の家では、9月4日(木)～7日(日)の3泊4日の日程で、文部科学省委託事業「学校長期自然体験活動指導者養成研修」を開催しました。この事業は、小学校の1週間の体験活動において、教育効果の高い自然体験・生活体験の機会を提供するために、プログラム計画の立案の助言、事業評価の助言などを行う指導者を養成することを目的として実施されたもので、関東近県から19名の参加がありました。

講師は大学教授、県キャンプ協会理事長、専門学校校長、YMCA総主事、NPO法人専務理事等々多彩な顔ぶれで、それぞれの立場から講義・実習・グループワークなどを行いました。4日間の研修を通じて、参加者は自然体験活動の指導者として必要な事項を学びました。講師の一人、信州大学教育学部教授平野吉直氏による講義では、学校教育における体験活動の意義をはじめ、長期自然体験活動が求められている社会的背景などについての講義があり、参加者は学校教育と体験活動の関わりについて理解を深めました。

この事業に関わったすべての皆さん、本当にありがとうございました。

< 第1日目 >



アイスブレイク



小野里講師(1番左)

< 第2日目 >



平野講師



劔持講師(中央)

< 第 3 日目 >



新保講師(1番左)



堀口講師

< 第 4 日目 >



堀 講師



発表風景

- 講義 「体験活動の指導法」(小野里清治氏・群馬県キャンプ協会理事長)
- 実習 「自然体験活動の技術」(剣持雅信氏・CCC自然・文化創造工場関東事業部専務理事)
- 講義 「学校教育における体験活動の意義」「教育課程と体験活動の関連性」
(平野吉直氏・信州大学教育学部教授)
- 実習 「安全管理・救命救急法」(新保政春氏・日本赤十字社群馬県支部派遣講師)
- 実習 「安全管理・リスクマネジメント」
- 演習 「プログラムの企画立案」(堀口廣司氏・東京YMCA社会体育・保育専門学校長)
(堀雄二氏・前橋YMCA総主事・常務理事)

< 参加者からの主な声 >

豪華な講師陣で、知りたかったことをよく知ることができてよかった。」

多方面の分野で活動されている方たちと交流できてよかった。」

参加者の意識が高く圧倒された。研修で得た経験を今後の活動に生かしたい。」